

SkyVisualEditorオンラインセミナー

～第10回 基本編～

AppComponentをつかってみよう

2015年2月10日（火）

株式会社 **テラスカイ**

The logo for TerraSky, featuring the word "TerraSky" in a blue serif font with a red dot over the "i" in "Sky". A blue arc is positioned below the text, and a red arc is positioned above it.

本セミナーの目的

SkyVisualEditorの機能および設定方法の紹介を目的としています

本日のセミナーのご対象者

- AppComponentについて興味・ご関心のあるご担当者様
- AppComponentの利用方法についてお困りのご担当者様

本セミナーのゴール

AppComponentの概要と設定方法を理解する。

※ SkyVisualEditorの製品概要については以下をご覧ください。
(<http://info.skyvisualeditor.com/>)

SkyVisualEditorのコンテンツについて

SkyVisualEditorの設定ガイドやTipsなどのコンテンツをWebで公開しています。是非、ご活用ください。
(<http://info.skyvisualeditor.com/developer/beginner/>)



 導入編

SkyVisualEditorを使って、Salesforceをより効果的に活用しよう。

Step1：導入しよう

これからSkyVisualEditorを利用し始める方に。

- 全操作方法が記載されたマニュアル → [操作マニュアル](#)
- 基本的な操作方法をご紹介する動画 → [画面開発手順](#)
- はじめてSkyVisualEditorを利用される方は、このスタートアップガイドをご覧ください → [スタートアップガイド](#)

Step2：定着化をはかろう

多くのSkyVisualEditorユーザーが活用している画面の作成方法をまとめました。

- [検索画面を作成しよう](#)
- [使いやすいワークフロー画面を作成しよう](#)
- [Salesforceで見積作成画面を作成してみよう](#)
- [Salesforceのレックアップ画面を使いやすいようにしよう](#)
- [Force.com Sites上に資料請求フォームを作成しよう](#)

Step3：もっと活用しよう

こんな使い方があったんだ！という、SkyVisualEditorの一步進んだ利用方法をお伝えします。

- [SkyVisualEditorの便利な機能 その1](#)
- [SkyVisualEditorの便利な機能 その2](#)

1. AppComponentのご紹介

2. AppComponent「住所補完」をつかってみよう

3. AppComponent「編集可能な選択リスト」をつかってみよう

※ 本セミナーの詳細な内容は以下操作マニュアルをご覧ください。

(https://www.skyvisualeditor.com/help/skyvisualeditor_help.pdf)

※ 当資料のロゴや設定画面はSalesforceのバージョンアップによって変更する可能性があります。

1. AppComponentのご紹介

2. AppComponent「住所補完」をつかってみよう

3. AppComponent「編集可能な選択リスト」をつかってみよう

SkyVisualEditorはSalesforceの画面開発サービスとして、豊富なUIコンポーネントを標準機能として提供しております。さらに、お客様の個別のご要件にお応えするための拡張機能を用意しております。今回は、このうち「AppComponent」という拡張機能について紹介いたします。

拡張



AppComponent

独自画面の表示や
個別処理の実行

ApexClass拡張

サーバーサイド側での
個別処理の実行

JavaScript/CSS

クライアントサイド側での
個別処理の実行/
スタイルの変更

UI



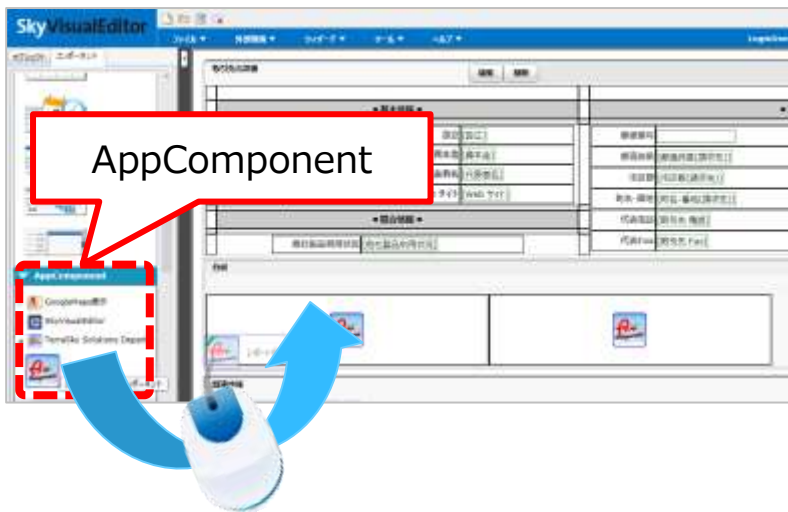
DB



AppComponentとは

AppComponentとは、SkyVisualEditorの標準コンポーネントで提供されていないお客様独自の機能（個別処理や画面表示など）を拡張できる部品（コンポーネント）です。
 AppComponentはSkyVisualEditorの標準コンポーネント同様に、お客様のSkyVisualEditor上で、ドラッグ＆ドロップとマウスクリックの操作により設定できます。
 本セミナーでは、AppComponentのメリットや使い方の流れを紹介します。

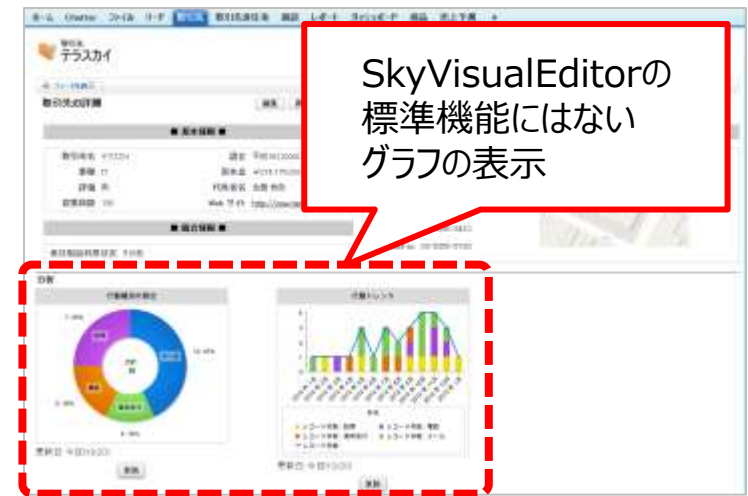
▼ SkyVisualEditor Studio



デプロイ



▼ デプロイ後のSalesforce画面



AppComponentを活用するメリット

AppComponentをご活用いただくメリットは以下の通りです。

1. AppComponentはドラッグ & ドロップおよびマウスクリックの操作で画面上に設定できるため、**開発生産性が大きく向上します。**
2. お客様自身で開発いただく必要はありますが、SkyVisualEditorの標準コンポーネントにない機能を独自に用意することで**画面の利便性を向上できます。**
3. お客様の個別要件をAppComponentとして部品化することで、画面毎に同じ処理やテストクラスを繰り返して**開発する必要がなくなります。**
4. AppComponentは既存のコンポーネントと独立した部品のため、**仕様変更が発生した際に修正箇所を減らすことができます。**

AppComponent一覧

AppComponentには、弊社の開発チームが独自に提供しているコンポーネントと、弊社パートナー様に AppComponent 対応いただいた有償のコンポーネントがございます。

現在公開しているコンポーネントの一例は以下の通りです。以下 URL より詳細をご確認いただけます。

(<http://info.skyvisualeditor.com/developer/use/appcomponent.php>)

無償		
	住所補完	郵便番号の一部を入力することにより、住所リストから都道府県、市区郡、町名番地の項目を自動的に入力することができます。 標準オブジェクトやカスタムオブジェクト、カスタム項目で動作します。
	編集可能な選択リスト	選択リスト項目、テキスト項目の選択肢を画面単位で自由に設定変更することができます。また選択リスト項目に自由な文字列を入力可能にすることもできます。
	SuperGanttChart	株式会社ジラッファが提供するガントチャートアプリです。AppComponentとしてご利用いただくことで、Salesforceで管理している取引先・取引先責任者・商談に紐づくToDoや行動を自由な位置にガントチャートとして配置できます。
有償		
	Motionboard for salesforce	ウイングアーク1st株式会社が提供するクラウド型のレポート・ダッシュボード&BI（意思決定支援ソフト）製品です。Motionboard for salesforceをAppComponentとしてご利用いただくことで、自由な位置に非常に表現力の高いボードを配置できます。
	AppMove ワークフロー	株式会社インタームーブが提供するワークフローアプリです。Salesforceの標準を超えた日本独特のワークフローをクリックベースで簡単に利用でき、AppComponentとしてご利用いただくことで、申請用紙と同じレイアウトのワークフローシステムを実現できます。

AppComponentの使い方

AppComponentをご利用いただく際の手順は以下の通りです。

1. AppComponentをご利用のSalesforce組織へインストール



2. AppComponentをSkyVisualEditorの画面上に配置



3. 配置したAppComponentのプロパティ設定



4. デプロイ

また、今回は説明いたしませんでしたが、AppComponentはお客様自身でご作成できます。
作成方法は、以下URLをご確認ください。

(<http://info.skyvisualeditor.com/developer/develop/>)

1. AppComponentのご紹介

2. AppComponent「住所補完」をつかってみよう

3. AppComponent「編集可能な選択リスト」をつかってみよう

AppComponent「住所補完」について

AppComponentの「住所補完」は、郵便番号を入力することで住所候補を表示させ、選択した住所を住所項目（都道府県、市区郡、町名・番地）に設定できる機能です。
郵便番号は3ケタ以上入力すると、候補一覧が表示されます。

▼ 住所の候補一覧の表示

103-002
103-0021 東京都中央区日本橋本石町
103-0022 東京都中央区日本橋室町
103-0023 東京都中央区日本橋本町
103-0024 東京都中央区日本橋小舟町
103-0025 東京都中央区日本橋茅場町
103-0026 東京都中央区日本橋兜町
103-0027 東京都中央区日本橋
103-0028 東京都中央区八重洲



▼ 候補一覧より住所を選択した後の画面

※会社名	株式会社テラスカイ	
※お名前(漢字)	姓:佐藤	
※お名前(カタカナ)	セイ:サトウ	
ご住所	※郵便番号	103-0028
	都道府県	東京都
	市区郡	中央区
	町名・番地	八重洲
電話番号		
※メールアドレス		
※当社ホームページをご覧になったきっかけをお教えてください。	<input type="radio"/> 当社ホームページ <input type="radio"/> インターネット <input type="radio"/> メールマガジン <input type="radio"/> ダイレクトメール <input type="radio"/> 当社社員からの紹介 <input type="radio"/> 知人からの紹介 <input type="radio"/> その他	
※テラスカイからの設立つ情報をメールアドレスにお送りすることがございます。	<input type="radio"/> 希望する <input type="radio"/> 希望しない	

選択した住所が
入力項目に
反映されます

「住所補完」機能の設定（AppComponentのインストール）

まず、ご利用のSalesforce組織に「住所補完」のAppComponentをインストールします。
以下URL内の「SkyVisualEditor標準AppComponent」をクリックし、[パッケージインストール]より、
AppComponentをお客様のSalesforce組織へインストールしてください。

<http://info.skyvisualeditor.com/developer/use/appcomponent.php>

SkyVisualEditor標準
AppComponent

SkyVisualEditor開発チームが提供するAppComponentのパッケージです。
このAppComponentには、以下の機能が含まれています。

- 1) 編集可能な選択リスト
選択リスト項目、テキスト項目の選択数を画面単位で自由に設定変更することができます。また選択リスト項目に自由な文字列を入力可能にすることもできます。
[ヘルプ: 編集可能な選択リスト]
- 2) 住所補完
郵便番号の一部を入力することにより住所リストから都道府県、市区郡、町名番地の項目を自動的に入力することができます。
標準オブジェクトやカスタムオブジェクト、カスタム項目でも動作します。
[ヘルプ: 住所補完]
- 3) Chatter フィード
Chatter フィードの「自分がフォローするもの」を表示します。
[ヘルプ: Chatter フィード]

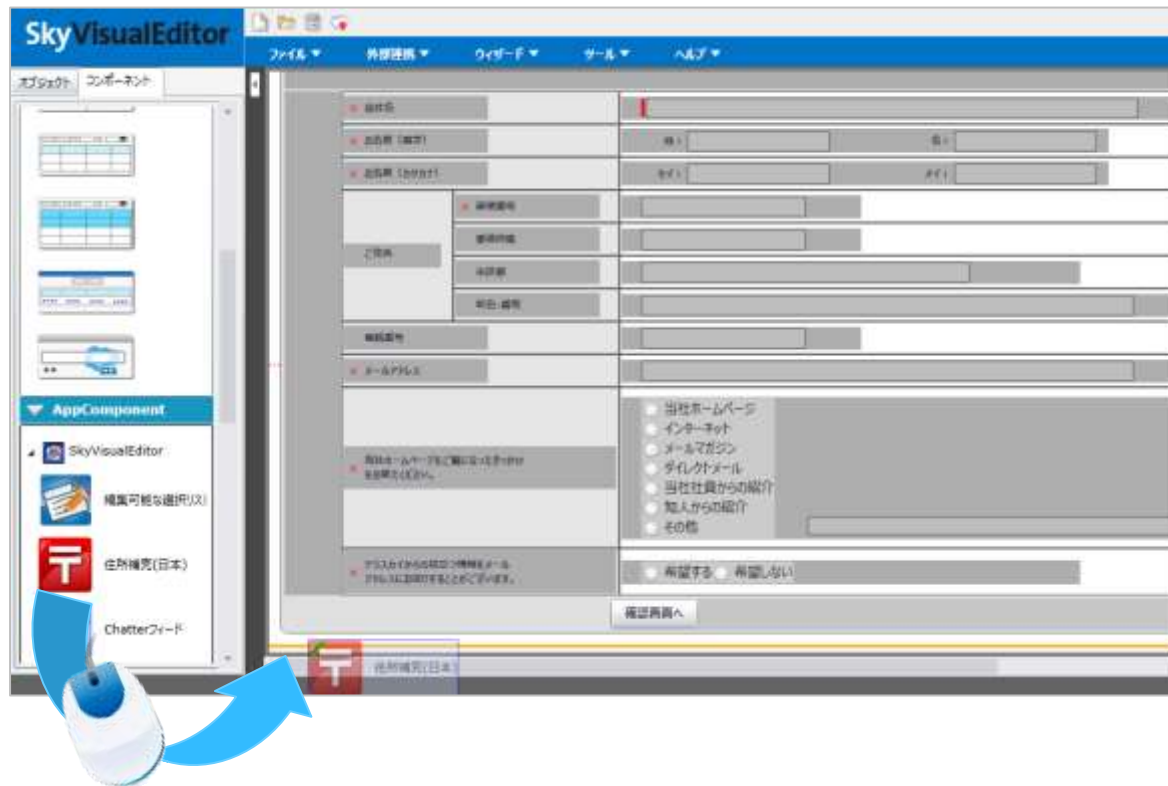
提供: SkyVisualEditor Team
価格: 無料
最新版提供日: 2014年7月13日

> パッケージインストール

> Sandbox環境のインストールはこちら


「住所補完」機能の設定（画面への配置）

「SkyVisualEditor標準AppComponent」をインストールすると、SkyVisualEditorスタジオにAppComponentセクションにインストールしたAppComponent一覧が表示されます。一覧の中から、「住所補完」を画面へドラッグ & ドロップにより配置します。



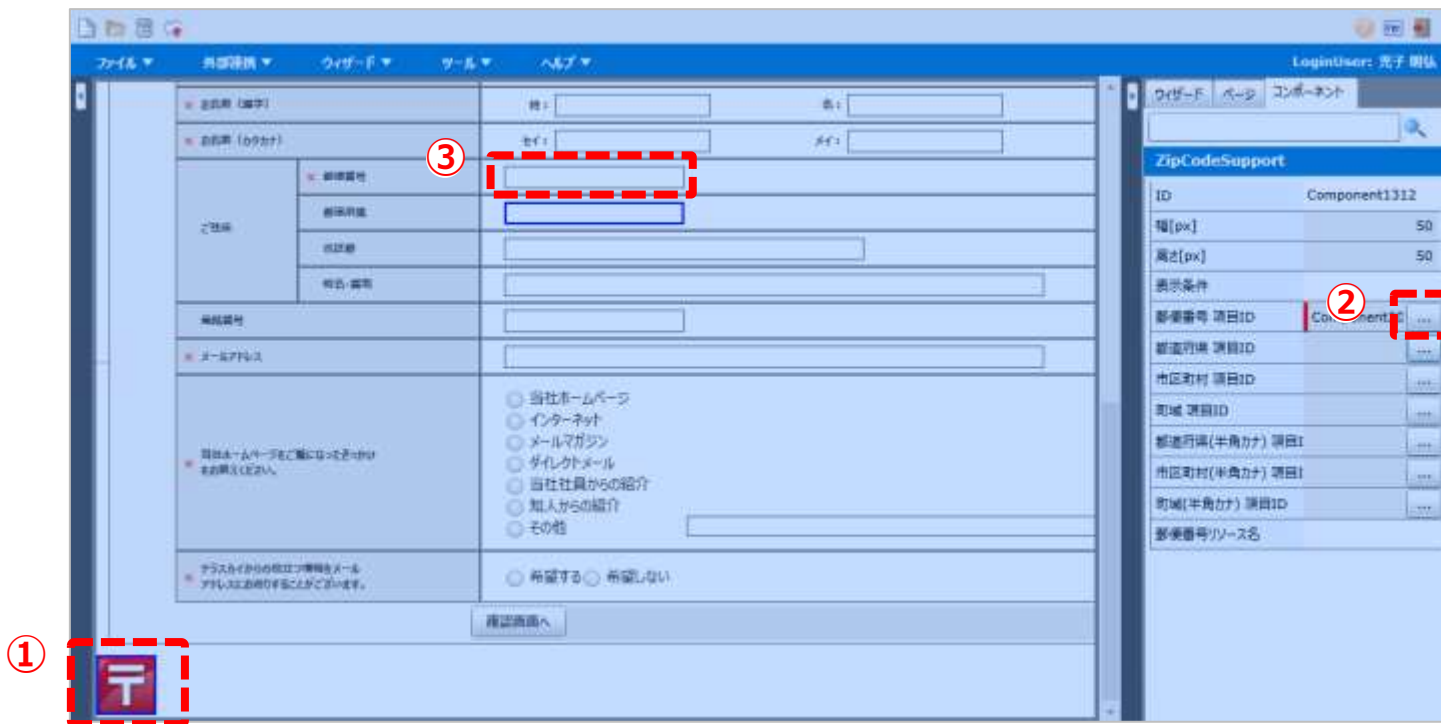
「住所補完」機能の設定（プロパティ設定）

次にプロパティの設定をします。

まず、画面に配置した「住所補完」のAppComponentを選択し（①）、画面右側に表示されるプロパティエリアにある「郵便番号 項目ID」のアイコン（）を選択します。（②）

次に、画面上に配置した郵便番号の入力項目を選択します。（③）

この操作を「都道府県」「市区町村」「町域」と設定します。カナを設定する際も同様の手順です。すべてを選択できれば、画面をデプロイすれば、設定は完了です。



[参考] 最新の郵便番号データの取得方法

住所補完のAppComponentをインストールする際に、「ZipCodeSupport」という名前で静的リソースに郵便番号データをお客様のSalesforce組織にインストールします。

この郵便番号データを最新の郵便番号データへ更新する方法は以下の通りです。

なお、詳細な設定方法については、以下ヘルプをご覧ください。

(https://s3.amazonaws.com/www.skyvisualeditor.com/AppComponent/SkyVisualEditor/appcomponent_skyvisualeditor_guide.pdf)

1. 以下のURLより、最新の郵便番号データのZipファイルをローカルへダウンロードします。
(<https://s3.amazonaws.com/www.skyvisualeditor.com/AppComponent/SkyVisualEditor/ZipCode/ZipCodeConverter.zip>)
2. ダウンロードしたZipファイルを、お客様のSalesforce組織の静的リソースへ保存します。
3. SkyVisualEditor Studioで配置しているAppComponent「住所補完」のプロパティの最下部にある「郵便番号リソース名」に、2.で設定した静的リソースの名前をコピーし、デプロイ。

1. AppComponentのご紹介

2. AppComponent「住所補完」をつかってみよう

3. AppComponent「編集可能な選択リスト」をつかってみよう

AppComponent「編集可能な選択リスト」について

Salesforceの「選択リスト」型の項目は、ユーザ定義のリストからプルダウン形式で値を選択できます。しかし、入力できる値はユーザ定義のリスト（選択肢）のみとなり、選択肢以外の値を手入力で入力することはできません。

AppComponentの「編集可能な選択リスト」をご利用いただくことで、プルダウン形式の入力と、編集可能なテキスト形式を組み合わせた、コンボボックス形式の入力を実現できます。

見積条件	見積明細
有効期限	2015/02/28 [2015/02/08]
支払条件	請求月の月末締、翌月末までのお支払
納入場所	--なし--
納入期日	請求月の月末締、翌々月末までのお支払 請求月の10日締、翌々月末までのお支払
前提条件	請求月の10日締、翌々月末までのお支払 請求月の20日締、翌々月末までのお支払 請求月の20日締、翌々月末までのお支払 別途、ご相談の上

▲ Salesforce標準の「選択リスト」型の項目の場合



見積条件	見積明細
有効期限	2015 [2015/02/08]
支払条件	直接、入力することができます。
納入場所	--なし--
納入期日	請求月の月末締、翌々月末までのお支払 請求月の10日締、翌々月末までのお支払
前提条件	請求月の10日締、翌々月末までのお支払 請求月の20日締、翌々月末までのお支払 請求月の20日締、翌々月末までのお支払 別途、ご相談の上

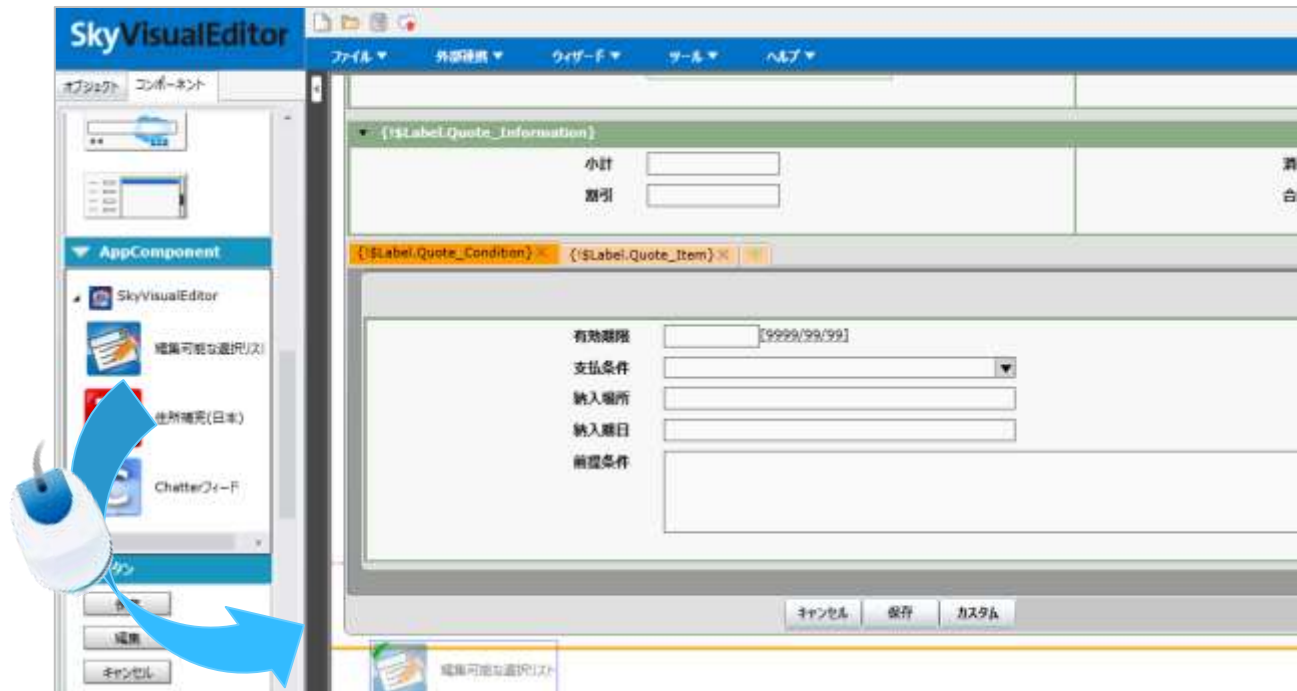
選択肢だけでなく、テキストを直接入力できます。

▲ 「編集可能な選択リスト」を使用した場合

「編集可能な選択リスト」機能の設定（画面への配置）

p.13でインストールした「SkyVisualEditor標準AppComponent」の中に、「編集可能な選択リスト」のAppComponentも含まれていますので、p.13ですでにパッケージをインストールしている場合は、再度インストールは不要です。インストールがまだの方は、p.13をご覧ください。


画面への配置の手順は、「住所補完」のAppComponentと同様、設定したい画面へ「編集可能な選択リスト」を配置します。



「編集可能な選択リスト」機能の設定（プロパティ設定）

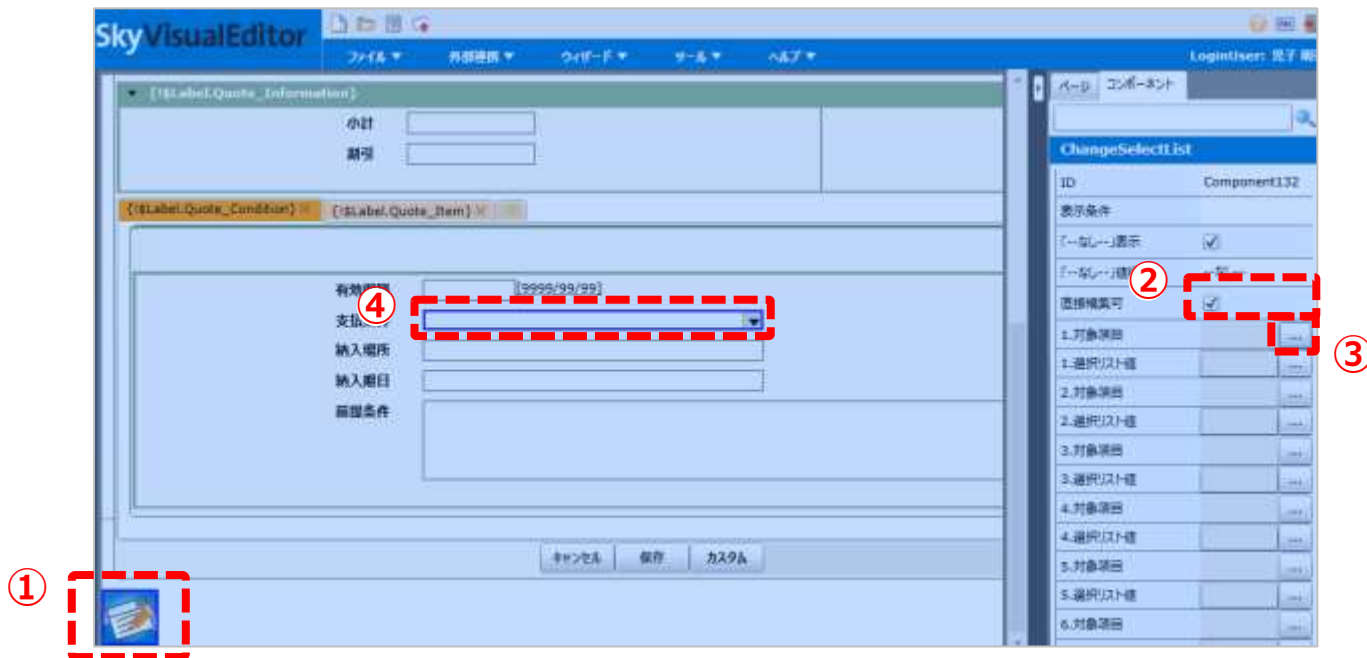
次にプロパティの設定をします。

まず、画面に配置した「編集可能な選択リスト」のAppComponentを選択し（①）、画面右側に表示されるプロパティエリアにある[直接編集可]のチェックボックスをONにします。（②）

次に、[1.対象項目]のアイコン（）を選択し（③）、項目を直接入力できるようにしたい選択リスト型の項目を選択します。（④）

最後に、画面をデプロイすれば設定は完了です。

なお、選択した項目を解除したい場合は、（）のアイコンをダブルクリックしてください。



[参考] テキスト型項目の選択リスト化

AppComponent「編集可能な選択リスト」は、プルダウン形式の選択リスト型の項目をコンボボックス形式に変更するだけでなく、Salesforceの「テキスト」型の項目に対して、SkyVisualEditor側で定義したリストを選択肢として表示することができます。

▼ Salesforce標準の「テキスト」型の項目の場合

見積条件	見積明細
有効期限	2015/02/28 [2015/02/09]
支払条件	請求月の月末締、翌月末までのお支払
納入場所	貴社指定場所
納入期日	
前提条件	




▼ 「編集可能な選択リスト」を使用した場合


見積条件	見積明細
有効期限	2015/02/28 [2015/02/09]
支払条件	請求月の月末締、翌月末までのお支払
納入場所	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;"> 貴社本店倉庫内 </div>
納入期日	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;"> --なし-- 貴社指定場所 </div>
前提条件	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;"> 貴社本店倉庫内 貴店舗事務所内 </div>

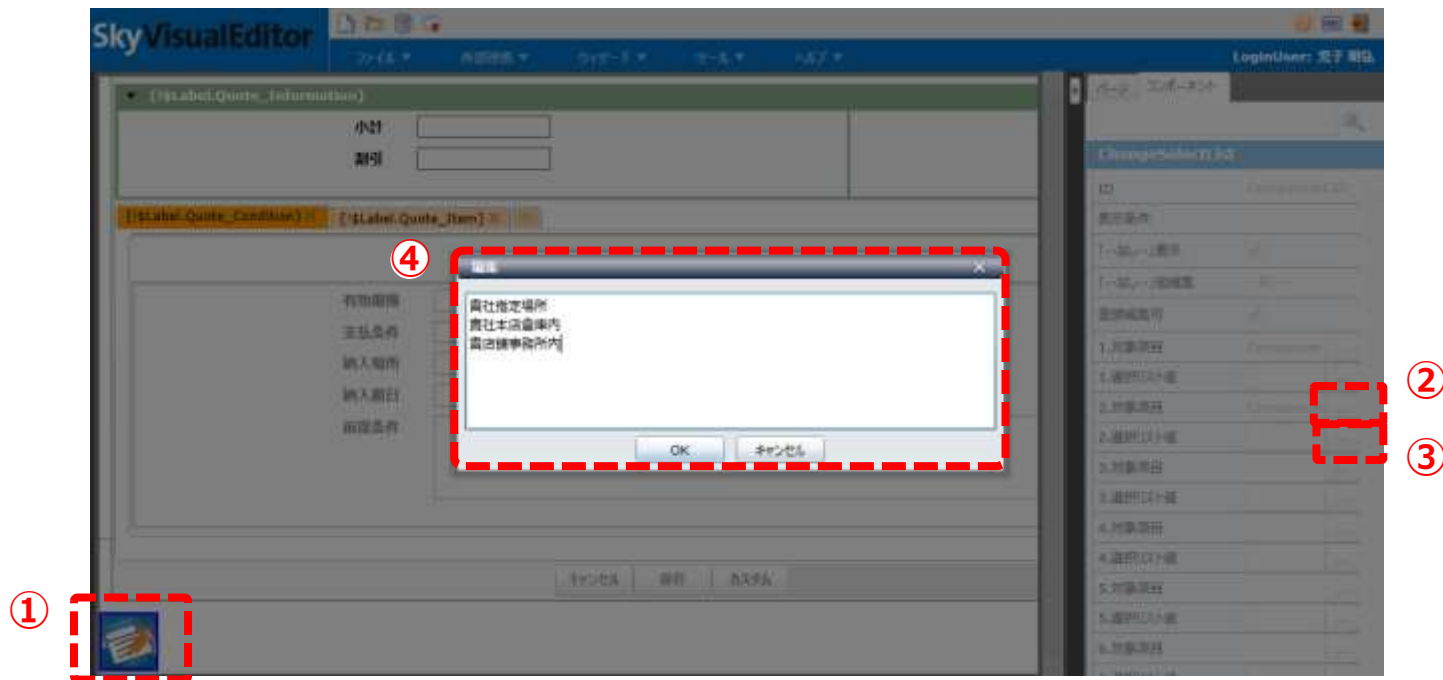
テキスト型の項目に
SkyVisualEditor側で
定義したリストを選択肢と表示

[参考] テキスト型項目の選択リスト化（設定方法）

設定方法は、p.20の選択リスト型の項目への設定の流れと同様です。

まず、画面に配置した「編集可能な選択リスト」のAppComponentを選択し（①）、画面右側に表示される[対象項目]のアイコン（）を選択し（②）、項目を直接入力できるようにしたい選択リスト型の項目を選択します。（③）

次に、[選択リスト値]のアイコン（）を選択した際に表示されるダイアログに定義したい選択肢のリストを入力します。（④）最後に、画面をデプロイすれば設定は完了です。



[参考]「編集可能な選択リスト」に関するFAQ

1. 選択リスト型、テキスト型の項目以外でも適用できますか？

適用できません。

プロパティ設定上は、選択リスト型、テキスト型以外のデータ型の項目にも設定はできますが、正常動作をしなくなるため設定しないようお願いいたします。

2. 選択リスト型の項目にスタジオで選択肢を指定した場合どうなりますか？

SkyVisualEditor側で定義したリストが、Salesforce側で定義しているリストを上書きします。そのため、選択リスト型の項目にSkyVisualEditor スタジオ側で選択肢を指定する場合は、ご注意ください。

3. データテーブル内の関連オブジェクトの項目へも適用できますか？

適用できます。

設定の流れは、当資料で紹介した流れと同様ですが、該当の関連オブジェクトを配置しているデータテーブルの[JavaScript]プロパティに、以下のスクリプトを記述ください。

```
ChangeSelectList.changeSelectinTable();
```

その他の詳細な内容については、操作マニュアルをご覧ください。

(https://s3.amazonaws.com/www.skyvisualeditor.com/AppComponent/SkyVisualEditor/appcomponent_skyvisualeditor_guide.pdf)

お役立ち情報

- ・セミナー/イベント情報
- ・サポート窓口

SkyVisualEditorの機能/設定に関するお問合せ

SkyVisualEditorのご契約者様は、以下の専用問合せページよりお問合せいただけます。
SkyVisualEditorの標準の機能/設定に関するお問合せは無償です。
また、別途、有償サポートのプランも用意しております。詳しくは以下問合せE-Mailより
お問合せください。

契約者様専用問合せページ：<https://terrasky.secure.force.com/ProductSupport>

SkyVisualEditorのご導入に関するお問合せ

SkyVisualEditorに関するお問合せは以下お問合せフォームおよびメールアドレス、
お電話番号にて受け付けています。お気軽にお問合せください。

問合せフォーム：<https://www.terrasky.co.jp/contact/support/index.php>

問合せE-Mail：product.sales@terrasky.co.jp

問合せTEL：**03-5255-3411**

SkyVisualEditorの事例を知る、体験する

- **3月20日（金） 14:00-17:00 「SkyVisualEditor紹介&体験セミナー」**
(<http://www.terrasky.co.jp/event/2015/0320-001.php>)

SkyVisualEditorを学習する

- **SkyVisualEditor標準トレーニング**
SkyVisualEditorの基本的な機能を網羅したプライベート研修です。
標準トレーニングをご受講いただくことで、SkyVisualEditorの基本的な
操作手順をご理解いただけます。

[SkyVisualEditor標準トレーニング内容]

12万円/回（税別） 1回あたり4名様までご受講いただけます。

次回以降のオンラインセミナーについて

第11回 活用編 「AppComponentをつかってみよう その2」 (予定)

3月10日 (火) 15:30-16:00

第11回は、弊社で独自に作成したAppComponentを紹介します。PDFの改ページや項目変更履歴の表示など実際の案件でもご利用いただけそうな機能を紹介します。

第12回 活用編 「SkyVisualEditorの便利な機能 その3」 (予定)

4月7日 (火) 15:30-16:00

第12回は、JavaScriptやCSSを使ったSkyVisualEditorの拡張機能について紹介します。JavaScriptやCSSの設定方法や活用例を紹介します。